

# 余市町都市計画マスタープラン

## 将来目標の設定

# 将来都市像

- ・本マスタープランの上位計画「第5次余市町総合計画」では、基本構想【メインテーマ】「未来に向けて住みやすいまちをつくる」を基に、以下の3つの指針を掲げています。
  - 次世代の可能性を引き出す
  - 資源を最大限活用しまちを持続・発展させる
  - 激動する社会に対応する
- ・本マスタープランにおいては、これらの目標の実現に向けた将来的な都市の姿を示すために、地形や土地利用を具体的にイメージしながらまちのあり方を示す「将来都市像」として以下を設定します。



## 『未来に向けて住みやすいまちをつくる』

『未来に向けて住みやすいまちをつくる』ことを念頭に、町民との協働により一人ひとりがともに力を合わせ、子や孫の世代にこの素晴らしい余市町を引き継ぎ、全ての人が安全・安心に暮らし続けられるまちづくりを推し進めるものとします。

# 基本目標

- ・「将来都市像」を実現するために、次の4つの基本目標を設定します。

## ①コンパクトな市街地と、周辺の自然・田園が調和したまちづくり

余市の特徴である「海」－「まち」－「田園」という基本的な土地利用形態を維持しながら、それぞれの関係を強化し相乗的な魅力が生まれるまちづくりを進めます。また、現状のコンパクトな市街地特性を活かし、現状の資源を最大限活用し機能集積を図りながらその規模を維持するとともに、適切な緑化を推進し、人々が暮らしやすい環境負荷を減らす創・省エネルギーに努め、ゼロカーボンなまちづくりを進めます。

## ②安全・安心で快適な営みをおくることができるまちづくり

近年の異常気象が各地で甚大な被害をもたらしていることから、災害に強いまちづくりに努め、子どもやお年寄り、障害のある方など誰もが安心して快適に暮らすことができるように、移動動線、バリアフリー、ユニバーサルデザインに考慮したまちづくりを進めます。

## ③DXを推進し快適な生活をより良くするまちづくり【新規追加項目】

近年のデジタル社会に対応するとともに、行政サービスをはじめ、交通、農業、医療、教育等全ての人々が地方に居ながら都市と同じ生活が送れるよう取り進め、いまだに終息が見えない新型コロナウイルス感染症にも対応した、リモートワークの活用で都市部からの移住を促進し、自然豊かな本町の魅力を体感し人口増加を図るまちづくりを進めます。

## ④まちの歴史や文化を活かしながら様々な交流と賑わいが生まれるまちづくり

余市の各所に点在する歴史・文化資源は、観光の拠点であるとともに町民の誇りや愛着を支える要素でもあります。また、人々が集まる商店街や公園なども出会いを生む大切な場所です。このような都市の拠点を活用して、町民同士、町民と観光客との様々な交流の機会を創出し、賑わいのあるまちづくりを進めます。